

第 25 回 大腸癌プロジェクト研究「大腸癌腹膜播種の Grading」議事録

研究代表者 小林宏寿（帝京大学医学部附属溝口病院外科）
日時 第 99 回大腸癌研究会・2023 年 7 月 6 日（木）13:00～14:00
場所 第 2 会場 尼崎総合文化センター2 階 アルカイクホール・ミニ

参加者 高見澤，平田（国がん），福田，（久留米），佐藤（藤田），小川，番場（女子医），長谷，梶原，田代（防衛），木下（愛知がん），室野（東大），小山，岩佐，藤本（奈良），松山，幡野（埼玉医大医療セ），川崎（ベルランド），落合（帝京），佐々木（医科歯科），富田（市立豊中），問山（三重），中山（名古屋），船橋，鏡（東邦大森），森川（福井），諸橋（弘前），安井（大阪国際がん），国際医療研究セ（清松），須藤，深瀬，森戸（山形中央），宮本（熊本），小澤，豊田（栃木がん），固武（佐野市民），小林（帝京溝口）。

順不同・敬称略

議題 1 前回会議議事録案の承認

- ・前回議事録が承認された。

議題 2 腹膜播種の prospective study（観察研究）の進捗状況

- ・発表・論文化について

予後情報なし

1) ベルランド（登録数 1 位）：PCI と日本の大腸癌腹膜播種分類ならびに原発巣占拠部位との相関

→Kawasaki M et al. J Anus Rectum Colon4(4);157-164, 2020

2) 国がん（登録数 2 位）：R0 切除を行い得る症例はどのような症例か

→Shida D et al. Int J Clin Oncol 25(2); 330-337, 2020

予後情報あり

3) 事務局:PCI と日本の播種分類との予後分別能(新しい分類と Grading の提示) に関し解析結果を発表→AGSurg に accept

4) 防衛医大（登録数 4 位）：大腸癌腹膜播種症例の予後予測における腫瘍マーカーの有用性

5) 藤田医科（登録数第 5 位）：化学療法と播種症例の予後

6) 東京女子医大（登録数第 7 位）：大腸癌腹膜播種の機械学習を用いた予後予測

7) 東邦大学大森（登録数第 7 位）：原発巣を切除した大腸癌腹膜播種症例における予後因子解析

- 8) 栃木がん（登録数第 7 位）：腹膜播種に対する手術と術後合併症の関係
- 9) 奈良県立医（登録数第 7 位）：大腸癌腹膜転移における Glasgow Prognostic Score (GPS) のインパクト
- 10) 埼玉医大総合医セ（登録数第 12 位）：腹膜播種症例の CurB 手術後の再発形式と予後因子
- 11) 東京大学（登録数第 13 位）：播種の局在と PCI, 予後の関連

4) 6) 7) 8) 9) 11) について各施設より進捗状況が発表された。

議題 3 腹腔洗浄細胞診の prospective study（観察研究）について

約 1700 例の予後情報集積が完了し、現時点での解析状況が事務局より報告された。

論文化の状況については以下の通り。

予後情報なし

- 1) 藤田医科（登録 1 位）：腹腔洗浄細胞診陽性に関連する因子の検討
→JARC に accept

予後情報あり

- 2) ベルランド（登録 3 位）：陰性→陽性に転じた症例に相関する因子の検討
- 3) 愛知がんセンター（登録 5 位）：施設別細胞診陽性率の差に関する検討
- 4) 事務局：細胞診の結果と再発・予後の検討
- 5) 防衛医大（登録 4 位）：腹膜播種再発の予測モデルに関する解析（Nomogram もしくは Classification And Regression Tree を用いて）

（文責：小林宏寿）